熊大附属特別支援学校の10年後
～未来の作戦計画～

2019.3.18

今

・芝刈り機が一台。時間も道具もない。
・駐車場が整備されていない。
・中学部の興味のある子はタイピング。プログラミング導入中。
・地域資源活用から生徒の成長につながってきている。
・附特ってどこにあるの？どこ？附小の隣？タクシーも知らなかったり…。
・タブレットの台数が増えてきている。
・小学部の子ども達もＳＯに参加している。
・小学部の学習にＳＴが参加している。
・高等部のカフェを通して地域の方々，事業所の方々，旧職員も来ている。
・小中高で研究に取り組んでいることの共有が難しい。
・地区コーディネーター会に参加できていない。教育相談の時間を十分にとることができていない。
・保護者より「この学校はいつも笑顔があっていい」「雰囲気がいい」
・研究推進の雰囲気がいい。
・運動場の水はけが悪く，雨天の行事では毎回スポンジで水を吸っている。
・掘りプロに期待。
・運動用具の不足。
・実習後に特別支援の教員になりたいと言う学生がup！
・会計の仕事がとにかく大変。負担になっている部分が大きい。
・すずかけの会の事務作業大変。
・希望通りに就職している。定着支援の充実が課題となっている。
・熊大の特支科以外の先生と連携できている。10年前に比べて良い。

はじめの一歩

・職員会議のペーパーレス。
・学部会を2週に１回。
・小中高の情報の共有→職員の半日交替。
・ＩＣＴを活用した授業実践。
・教育課程検討システムの改善。
・すずカフェの中での音楽鑑賞や読み聞かせなどのイベント。
・ＳＯや先輩の活躍の話を聞ける機会。
・生涯学習のニーズを収集する。
・運動場に出るような仕掛けをしてみる。
・附属の施設を地域へ開く。運動場や体育館。
・タブレットの購入に向けて準備計画。
・作成した動画の共有。「ユーチューブ」附特チャンネル。
・Ｐ研→週１回＋月１回での充実。
・すずかけの家改築プロジェクトを考え始める。
・プログラミング，タイピングetc…学習内容へ取り込む。

３年後

・お便りが少しでもペーパーレスで進んでいる。
・職員駐車場のコンクリート化。
・Ｐ研の週２実施。
・研発参加者333人。
・学びの展開が分かりやすくなっている。
・行事の精選。学部会月１回。
・19：00までの退勤。
・タブレット生徒一台。
・運動用具の充実。
→外部指導(専門性)の導入。
居住地校交流活発になり，地域行事に行く子が増える。
・ＮＩＥ→パソコンやタブレット，新聞を活用してニュースを話題にできる生徒が増える。
・「附属特支はこちら」の看板。
・大学の先生方と仲良く連携。
・すずかけの家，建替えに向けての図面スタート。
・熊大附特といえばこれ！という研究。
・図書室活用が充実。
・科研費を申請する先生が増える。
・企業からの研修が増える。
・すずかけの会での講座。

５年後

・コーディネーターの加配が付いている。
←地域のいろんな人の相談役に。
・教員採用試験（実習生）の全国合格率20位以内。
・教職大学院に１人は行っている。
・大学の予算がグーンとup！
・ＡＩスピーカー導入。誰でも使えるＩＣＴ。
・要録をパソコンで。
・パラリンピックを目指している生徒がいる。
・専攻科ができている（進路選択の幅増）。
・情報系の進路に進んでいる子がいる。
・進路説明会（就職説明会に子どもが参加）。
・図書館の広がりと充実。活用（司書・新聞・借用）。
・ボイラー室の改築。
・情報活用した授業の充実。
・福祉関係の職員が学校にいる。
・大学の中に入り込んでいく。行き来自由。場の共有も（大学の図書館でカフェとか）。
・音遊びや美術サークルがある。
・会議を減らして個人研究の充実。
・卒業生向けイブニングセミナー。
・居住地の学校行事や子ども会に参加している。
・施設面の整備を２つ以上。
・すずかけの家建て替え工事着工。
・卒業後の進路の幅を県立にも広げる。
・附属発テキスト発行。

10年後

☆「熊大は支援学校の隣だよ」と言われる。
☆国の役人の方々も見に来るような学校。
☆「全国の先生が憧れる」。
☆だれもが知っている(教員以外の人も)。知名度up!
☆県立学校の教師が附属で仕事をしたいと思えるところ。
☆情熱大陸出演♪

☆PT,OT,STなどが敷地内，すぐ近くにいて学校と日常的に行き来している。（福祉関係機関）
☆実習生の教員採用試験合格率全国10位以内。
☆実習生が再び附属に戻ってきて子ども達に教えている。
☆働きながら教職員大学で学べる。
☆完全なるペーパーレス。
☆一人一台タブレット。大人も子どもも。各種届け書類もタブレットで。連絡帳やお便りも。印刷機がなくなっている。
☆パラリンピックを目指す子がたくさんいる。

☆有名人のたくさんいる学校。アートやYouTuber。生涯学習
☆ロボットをコントロールするような仕事があるだろうから，子どもが使いこなせる（プログラミング）。それに付随した学習をしている。

☆家庭生活（結婚など）充実。
☆ライフキャリアサポーター。
☆研発の参加者増へ。400人。
☆ＴＶ会議で研発参観できる。
☆すずかけの会のNPO法人化。
☆居住地校交流が活発で自由に行き来している。
☆子ども達の夢や希望への進路保障。進路選択の幅への対応。
☆子ども達が近隣の小中学校を行き来している。
☆受検生増！100人。←学校で受け入れられる幅をもっと広げる。
☆大学の先生方と教育論の会話をしている。学生も一緒に。
☆駐車場立体化。
☆運動場がきれいで，水はけが良くなっている。
☆全天候型のプール。

☆職員の仕事量が減って土日は仕事しない。
☆仕事ロボット（ＡＩ）導入。
☆質の高い教育をしている。
☆すずかけの家の建て替え→新築
☆図書館＆カフェなどの拡がり。
☆地域の学校へ教師が講師で出向く。（ＶＲ活用，すぐに行くことができる）
☆困ったら附属にすぐに行ける。←悩みを聞ける学校へ。